

令和7年度教育懇談会 参加者の皆様からの御意見

今回の教育懇談会は、藤原和博氏が提唱する「よのなか科」形式で自由に意見交換を行いました。参加された皆様におかれましては、様々なご意見をいただきありがとうございました。

県教育委員会としてはいただいた意見を参考にしながら、魅力ある学校づくりに向けて、主体的に学び、互いに多様な他者を尊重し、自分らしさを認め合い、協働しながら、夢や希望の実現に邁進することができるよう、様々な教育の取り組みを展開して参ります。

～令和7年度教育懇談会概要～

□日 時 令和7年11月28日（金）18：00～20：00

□場 所 南都留合同庁舎 4階 会議室

□出席者 34名

県教育委員 5名 県教育長 1名 県教育委員会職員 6名 一般参加の方々 22名

□テーマ 『魅力ある学校とは？～子ども・先生・地域がつくる未来の学び～』

○以下、参加者から挙げられた意見の紹介

これから学校教育において「こうだったらいいな」と思うことは何か

- ・好きなこと（得意分野・興味があること）だけ勉強したい。
- ・先生と生徒の距離が近い環境。
- ・自分の意見を安心していえる場所。意見を言わなくても安心していれる場所。
- ・ルールを守るだけでなく、生徒がルールを考え作る機会がほしい。
- ・9時登校にしたい。朝の時間がゆったり出来て幸福感が高まるから。
- ・テストや入試がなくなってほしい。
- ・テストだけでなく違う評価の仕方がほしい。
- ・毎日が半日の学校がいい。
- ・時間割のない、または時間割を自ら選択できる学校がいい。
- ・先生も生徒も一日遊ぶ日（勉強しない日）を設ける。

これからの「魅力ある学校」をつくるために、家庭・学校・地域はどうあるべきか

〈家庭〉 キーワード「愛情」・「安全安心」・「自立」

- ・学校現場を理解し、共感し、家庭で共有する
- ・子どもを見守り、子どもに安心を与える場
- ・我が子にも必要なときには厳しくする（ダメなことはしっかり注意する）
- ・子どものやりたいことを認める
- ・大人が自分の経験をたくさん教えてくれる、親と子どもが一緒に学ぶ

〈学校〉 キーワード「居場所」・「挑戦」・「体験」・「遊び」・「交流」

- ・挑戦することの手助けをしてくれる、安心して挑戦できる、失敗も学びに変える
- ・自分が認められる場所（居場所）、好きなことを見つける場所
- ・子どもの自主性や好きなことを大切する
- ・一人では味わえない感動体験を与える
- ・一人ひとりの個性や特徴を伸ばす

〈地域〉 キーワード「参画」・「連携」

- ・学校と企業をつなぎ、技術を届け、学びに投資する
- ・子どもたちに話したり共に活動したりする機会を増やす
- ・学ぶ場を提供する
- ・学校、子どもたちの見守り隊になる
- ・行政と連携して学校を補助する